

1. 寿命の50年間推移と県別順位 「平成27年都道府県別生命表の概況（厚生労働省）」より作成 田中201110

女性	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2010年	2015年	寿命の伸び
神奈川	2位	3位	7位	25位	18位	15位	17位	2⇒17位 ↓
	74.08	77.85	81.22	83.35	86.03	86.63	87.24	+13.16
長野	26位	16位	9位	4位	5位	1位	1位	26⇒1位 ↑
	72.91	77.00	81.13	83.89	86.48	87.18	87.67	+14.86

男性	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2010年	2015年	寿命の伸び
神奈川	3位	2位	6位	6位	3位	5位	5位	3⇒5位 ↓
	69.05	72.95	75.59	77.20	79.52	80.25	81.32	+12.27
長野	9位	4位	2位	1位	1位	1位	2位	9⇒2位 ↑
	68.45	72.40	75.91	78.08	79.84	80.88	81.75	+13.30

2. 特定健診 厚労省調査より2年次の比較

	2008年	2015年	伸び率
神奈川	37.0%	49.7% 18位	134%
長野	42.4%	54.2% 7位	128%

【解説】 広井義典 千葉大 法政経学部教授「長野モデルの再吟味」2016年 JA 総研セミナー報告より
 “健康長寿世界1の信州”の普遍化可能性 赤字は、広井教授

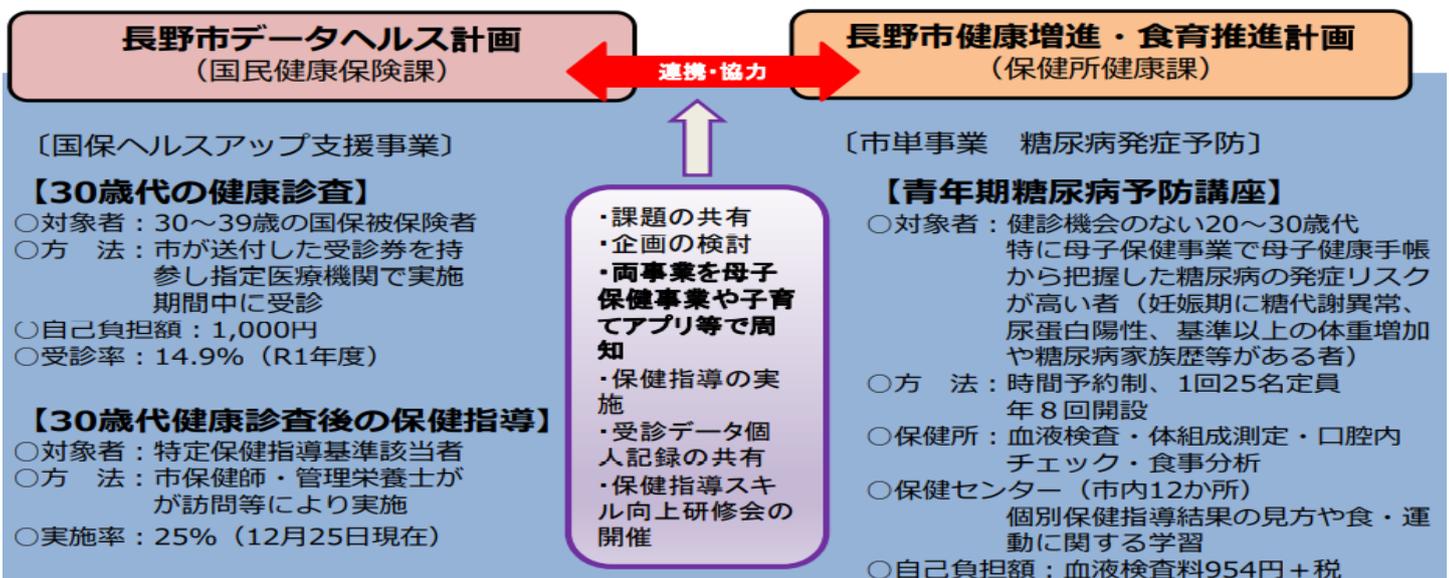
- ・2010年の国勢調査で、男女共に平均寿命全国1位
- ・県民1人当たり後期高齢者医療費は、低い方から4番目

（要因として挙げられ点）－長野県による分析－

- ① 高齢者の就業率が高く（全国1位）、生きがいを持って生活 ② 野菜摂取量が多い（全国1位）
- ③ 健康ボランティアによる健康づくりの取り組みや、専門職による保健予防活動

長野市における若年者の生活習慣病予防対策 2020年3月 厚労省国保課長会議 国民保険分科会説明資料

本市の健康課題である糖尿病の発症予防を効果的に進めるため、若年期から自分のからだの特徴や健康状態を知り、食生活などの生活習慣の改善に継続的に取り組めるよう支援している。



(この法律の目的) **第一条** この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もつて社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする。

第六章 保健事業 第八十二条

市町村及び組合は、特定健康診査等を行うものとする他、これらの事業以外の事業であって、健康教育、健康相談及び健康診査並びに健康管理及び疾病の予防に係る被保険者の自助努力についての支援その他の被保険者の健康の保持増進のために必要な事業を行うように努めなければならない。

横浜市 国保条例の保健事業	川崎市 国保条例の保健事業
<p>(保健事業)</p> <p>第12条 本市は、<u>特定健康診査等</u>(法第72条の5第1項に規定する特定健康診査等をいう。以下同じ)を行う他、これらの事業以外の事業であって、保険給付又は被保険者の<u>健康の保持増進のために、必要な事業</u>を行う。</p>	<p>(保健事業)</p> <p>第9条 市は、法第82条第1項の規定により、被保険者の健康の保持増進のため必要がある場合は次に掲げる事業を行う。</p> <p>1) 健康教育 2) 健康相談 3) 健康診査 4) その他被保険者の健康の保持増進又は保険給付のために必要な事業</p>
<p>現在 第2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定健診 2. 糖尿病性腎症重症化 予防事業 3. 後発医薬品 (ジェネリック医薬品) 普及促進事業 4. 重複頻回受診対策事業 5. 医療費通知医療費通知 6. 国保健康だより <p>(国保運営協議会資料より)</p>	<p>1999年 (h11) 年報「川崎の国民健康保険」では 第6節 保健事業</p> <p>①海の家 (委託契約) 無料 3か所 5,889人 ②健康有料家庭表彰 無受診 7年以上 2段階 630人 ③プール、スケート割引券 6施設 2,746人 ④日帰り温泉割引券 3施設 3,596人</p> <p>保健事業に位置付けられていない 35,38歳国保健診</p> <p>現在 第2期データヘルス計画 より</p> <ol style="list-style-type: none"> ①こくほの健診(特定健診・保健指導) ②こくほの健診 35~39歳健診(同上無料 2018年~) ③保健施設事業(プール・トレーニング無料・有馬療養温泉) ④生活習慣病重症化予防事業⇒かわさき健康づくり 21 ⑤医療費通知 ⑥重複・頻回受診対策 ⑦後発薬

- 川崎**
- ① 市内温水プール 5か所 (市営プール) スポーツセンター、トレーニングルーム7か所(各区1) 無料利用券 配布 半年に1人8枚
 - ② **35歳,38歳健診** ・受診率は年々上昇。平成26年度~平成28年度2.8ポイント上昇 **18%**
 ・長期未受診者が全体の69.9%。未受診者一人当年間医療費が年齢が高くなるほど医療費が高くなる。
 ・長期未受診者減らし、受診する人を増やす必要があり。⇒2018年より、35~39歳へ拡大。

2020年国保課長会議 資料提示 「新経済・財政再生計画/改革行程表2019」 p21 国保健診

「地域の医師会等とも連携しながら特定健診・特定保健指導の実施に取り組む好事例を横展開するなど、まずは**目標値 (2023年: 70% (特定健診)、45% (特定保健指導))**の早期達成を目指し、現状の分析を踏まえつつ、特定健診・特定保健指導の実施率の向上につながる効果的な方策等を検討。また、好事例の横展開等により、保険者別の取組の見える化を図る。 ・国保において、40~50歳代が特定健診を受診しやすくなるよう、休日夜間の健診実施や 40歳未満からの健診 実施等の横展開を図る。」

神奈川県国民健康保険事業状況 平成30年度（2018年度）

① 加入数と前期加入者の比率 県下33自治体 p 18,77

	加入総数	65~74才	%	順位	
1	横浜市	729,227	304,648	41.8	29位
2	川崎市	273,758	99,924	36.5	33位
3	藤沢市	89,233	38,855	43.5	30位
4	葉山町	8,407	3,448	41.0	31位
5	山北町	2,802	1,543	55.1	1位
6	清川村	868	430	49.5	3位

② 特定健診の受診率と1人当たり保健事業費 p 100,98

	受診率	順位	保健事業費	順位	
1	横浜市	24.3	32位	2,052	33位
2	川崎市	26.4	31位	2,238	32位
3	藤沢市	39.7	2位	3,426	17位
4	葉山町	28	27位	2,518	30位
5	山北町	35.1	5位	4,431	4位
6	清川村	44.6	1位	5,770	1位

③ 1人当たり医療費の状況 p 72

	一般		前期高齢者		
	金額（円）	順位	金額（円）	順位	
1	横浜市	357,682	18	525,933	6
2	川崎市	341,417	27	546,567	1
3	藤沢市	340,568	28	483,189	24
4	葉山町	310,547	33	310,724	33
5	山北町	443,302	1	537,932	2
6	清川村	373,972	8	454,863	32

(全国比較) 保健事業 (平成28年度 市町村国保) 厚労省hp

特定健診受診率	%	1人当り保健事業費	円
1位 宮城県	47.3	1位 山口県	2,171
44位 神奈川県	27.0	46位 東京都	301
47位 広島県	26.0	47位 神奈川県	276

5位 東京都	44.7
--------	------

保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)

